



目指すは、「職業『鈴木結』」!

良いと思っただけのものを堂々と発信したい

インフルエンサー 鈴木 結さん(川井)

「キラキラした自分ばかり見せてしまいがちなSNSの中で、私はありのままの自分を発信していきたいんです」
 そう語るのは、鈴木結さん・37歳。市内で食堂を経営し、料理教室や古着販売なども行う傍ら、インスタグラムを中心に活動するインフルエンサーとして、多くの人の心に響く情報発信を続けています。

声援を糧に完走した50日チャレンジ
 今度はみんなで

「アップリに。そして、チャレンジ期間終了後、投稿した写真を初日から振り返り、ある変化に気付きました。『写真の中の自分の顔がどんどん垢抜けていくんです。50日間では本当に変わるんだなと驚きました。また、以前は『かわい』と言われても『謙遜してしまっていました』が、素直に『ありがとう』と受け取れるようになりました。効果を実感した結さんは、多くの人と共にこのチャレンジに取り組みたいという思いからフォローにも参加を呼びかけ、自身も2回目のチャレンジを開始。次第にチャレンジはフォロー外にも広まり、新たな人脈を得るきっかけにもなりました。」

ありのままの自分を知って欲しい

様々な投稿や活動から、ポジティブな印象がある結さんですが、過去にはこのような経験もありました。
 東京で一人暮らしをしていた結さんが母の急逝を受けて帰郷したのは2年前のこと。認知症を患う父と二人の暮らしが始まりました。

「まだやりたいことがたくさんあるのに毎日介護のことが頭から離れない

辛さ、仕方ないとわかっていても、何度も同じことを尋ねてくる父への苛立ち…先の見えない生活に絶望して泣き叫ぶこともありました」
 そんな苦悩の日々についても、結さんはインスタグラムで赤裸々に発信していました。

「最初は、ネガティブな感情を外に表現することで自分の気持ちを整理していたんです。でも、次第に投稿を見てくれる方が増え、共感や励ましの声が届くようになり、『こんなネガティブなことでも正直な自分を発信することが誰かの希望や応援になるのかもしれない』と思うようになりました」

結果を残し、夢に近づく結さん

「料理、ファッション、介護、性別…全ての枠を超え、職業『鈴木結』として自分が良いと思っただけのものを発信し続けるインフルエンサーになりたいです」

9月には、「自分が思う本当の美を表現したい」との思いで挑んだ、プラスサイズの女性のビューティーコンテスト「Today's Woman」でトップ10入りを果たした結さん。「職業『鈴木結』への道を着実に歩んでいます。」

結さんのインスタグラムは、こちらからご覧いただけます。



▲50日間のコーディネート投稿の一部。
 自然な笑顔と自信がどんどん満ちあふれてきているのがわかります。